

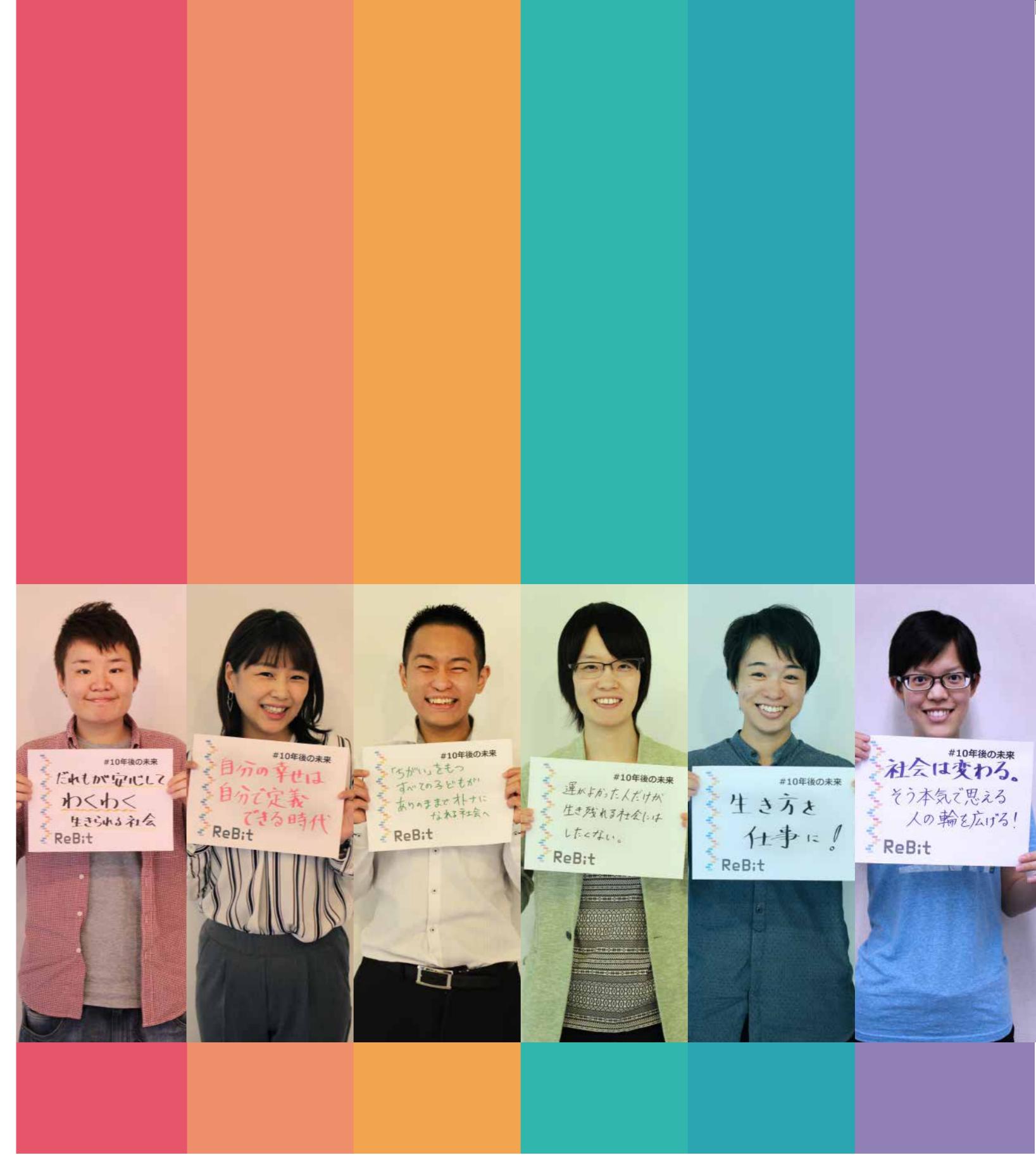


団体沿革

2009年 12月 団体設立
2010年 8月 LGBT教育事業開始
2011年 4月 「早稲田大学公認学生団体 Re:Bit」となる
2012年 1月 LGBT成人式初開催
2013年 8月 LGBT就活事業開始
2014年 3月 「特定非営利活動法人 ReBit」となる
10月 LGBTってなんだろう？出版
2016年 10月 RAINBOW CROSSING TOKYO 初開催
2017年 3月 Ally Teacher's Tool Kit リリース
2018年 7月 認定NPO法人格を取得

団体概要

法人名：認定特定非営利活動法人 ReBit（リビット）
設立：2009年12月（2014年3月NPO法人化）
所在地：東京都新宿区戸山1-1-5
エールプラザ戸山台301号室
代表理事：薬師 実芳（やくしみか）
電話：03-6278-9909
メール：info@rebitlgbt.org
ウェブ：<http://rebitlgbt.org/>
Facebookページ：<https://www.facebook.com/Re.Bit.LGBT>



認定特定非営利活動法人 ReBit
2018年度 年次報告

はじめに

LGBTを含めたすべての子どもが、
ありのままで大人になれる社会へ。



ReBit とは？

LGBTを含めたすべての子どもがありのままでオトナになれる社会を目指す認定NPO法人。団体名には「少しづつ(Bit)」を「何度も(Re)」繰り返すことにより社会が前進してほしい、という願いが込められ、LGBTの人もLGBTでない人も、大学生や20代の若者、約600名が参加しています。

代表理事挨拶



認定特定非営利活動法人 ReBit
代表理事
薬師 実芳 (やくしみか)

私自身がトランスジェンダーであると認識したのは、小学校6年生の頃。今、セクシュアリティに悩み、毎晩布団の中で泣いていた小中学生の頃の私に会えるとしたら、言ってあげたい言葉があります。

「あなたのままで大人になれるよ」と。

そんな言葉を届けたくて、大学2年生でReBitを立ち上げ、2017年度で9年目を迎えました。一学生の想いからはじまった団体が、一人また一人の想いと重なり、約600名のメンバーとともに10年目を迎えられたこと、そして本年も多くのみなさまに応援をいただき、子どもたちに声と想いを届けさせていただいている毎日、心より感謝を申し上げます。

「少しづつ(Bit)を何度も(Re)」繰り返すことで、LGBTを含めたすべての子どもがありのままでオトナになれる社会を実現することを信じ、これからも邁進させていただきます。2019年度もReBitを応援いただけましたら幸いです。

1989年生まれ。早稲田大学商学部卒業。キャリアコンサルタント。在学中にReBitの前身となる学生団体を設立、ウェブ広告代理店での勤務を経て、現職。企業/行政/学校などで講演実績多数。新宿区、世田谷区等で検討委員を務める。2015年、青年版国民栄誉賞と言われる「人間力大賞」受賞。2016年、ダボス会議で知られる世界経済フォーラムに任命された若者によるコミュニティ「グローバルシェイパーズコミュニティ」の一員となる。共著『LGBTってなんだろう?』『ふつうってなんだ?』『トランスジェンダーと職場環境ハンドブック』他。

メンバーの声



ReBitに入ってから、セクシュアリティだけでなく、学歴や国籍、かぞくなど色々なちがいが飛び交っていることを肌で感じました。自分も高校卒の社会人として活動をしていますが、メンバーが皆でお互いを認めあえる環境が常にあるからこそ、自分に自信を持つことができるようになりました。(としや)

ReBitに入って「自分だけのもの」を大切にできるようになったと思います。私は色々な要素を持った人間です。船が好きで、野菜が苦手。塾講師をしている等々。他にもありますが、この要素をこの通り持つ人は自分だけで、それはとても貴重なことだと思うようになりました。

ReBitに入って3年目。今度は「なら、自分に出来ることは何か?」と考える日々です。(えみこ)



ReBit が向き合う課題

LGBT の子どもの現状

LGBT とは？

国内の調査では LGBT は約 3 ~ 10% いるといわれています ^{(*)1}

- 〔L〕 レズビアン (女性同性愛者)
- 〔G〕 ゲイ (男性同性愛者)
- 〔B〕 バイセクシュアル (両性愛者)
- 〔T〕 トランスジェンダー
(生まれたときのからだの性をもとに割り当てられた性と、
自認する性が異なる人)

4つの頭文字からなり、セクシュアルマイノリティ (性的少数者) を指す言葉としても使われます。この他にも多様なセクシュアリティが存在します。

LGBT の子ども / 若者の現状

学校での困難

いじめや暴力を受けたことがある : LGBT の 68% ^{(*)2}

自殺念慮を抱いたことがある : トランスジェンダーの 58.6% ^{(*)3}

特に、小学校高学年から高校がピークといわれます。
しかし、先生の1割しかLGBTに関する知識をもっておらず、
高校生の1割しか習ったことがありません。^{(*)4}
だからこそ、知識やサポートが届いていません。

就職活動での困難

同性愛者や両性愛者の 42.5%、トランスジェンダーの 87.4% が、
新卒就活時に性的指向や性自認に由来した困難等に直面すると言います。^{(*)5}

(*)1 「働き方と暮らしの多様性と共生」研究チーム (2019) 「大阪市民の働き方と暮らしの多様性と共生にかんするアンケート」ではLGBTがTが2.7%、LGBTAが3.3%、「決めたくない・決めていない」を含めると8.2%。日本労働組合総連合会 (2016) 「LGBTに関する職場の意識調査」ではLGBT等(性的マイノリティ)当事者が8.0%、株式会社LGBT総合研究所 (2016) 「LGBTに関する意識調査」では、LGBTが5.9%、LGBTを含めたセクシャルマイノリティが8.0%、電通ダイバーシティ・ラボ (2018) 「LGBT調査2018」では、LGBTを含む性的少数者(セクシャル・マイノリティ)が8.9%。日高庸晴・三重県男女共同参画センター「フレンチみえ」 (2018) 「多様な性と生活についてのアンケート調査」ではLGBTQが10.0%。岩手県高校教育研究会学校保健部会・いわて青春期研究会 (2013) 「高校生の生と性に関する調査」ではセクシャルマイノリティが10.1%。

(*)2 いのちリスクペクト・ホワイトリボン・キャンペーン 平成25年度東京都地域、自殺対策緊急強化補助事業「LGBTの学校生活に関する実態調査(2013)」

(*)3 中塙幹也(2010)「学校保健における性同一性障害：学校と医療の連携」『日本医事新報』4521:60-64

(*)4 ReBit出張授業アンケート(2014・2015)

(*)5 2019 認定特定非営利活動法人ReBit「LGBTや性的マイノリティの就職活動における経験と就労支援の現状」調査より

教育事業

学校を LGBT を含めた
すべての子どもにとって安全な場に



出張授業・研修

多様な性への理解を深めていただくため、全国の学校・行政等で子ども・教職員・行政職員等を対象に、現在まで約 900 回・約 9 万人以上に、出張授業・研修を届けてきました。

ReBit の行う授業は「出会い」授業。LGBT の大学生・若者と出会いことで、理解につなげていただけたらと願っています。多様な性を切り口として、多様性への気づきや、他者理解の向上、そして自身も多様な中の一人であることを認識し自己理解を深めるなど、体感的理を目的としています。

●2018 年度のご報告●

全国の小中高大学・行政等で、児童生徒や教職員にむけた出張授業・研修を年間 174 回実施し、2.8 万人以上に受講をいただきました。

<実施一覧>

【小学校】: 千葉大学教育学部附属小学校、鴻巣市立下忍小学校、他多数 【中学校】: 新宿区立四谷中学校、東京シユーレ葛飾中学校、立教池袋中学校、他多数 【高校】: 東京都立芦花高等学校、青山学院高等部、明秀学園日立高等学校、他多数 【大学】: 早稲田大学、慶應義塾大学、法政大学、Northeastern University、他多数 【行政】: 一関市、文京区、北区、習志野市、厚木市、座間市、さくら市、北栄町、他多数

<受講者の声>

- ◆小学生: その人らしさを尊重したいし、自分のことももっと大事にしたいと思いました。
- ◆中学生: 授業を受けて考えが変わりました。人の数だけ考え方や性格の違いがあるのと同じで、性のあり方も違いがあって当たり前なのだとと思いました。
- ◆高校生: 友達からカミングアウトされたら受け止められると思っていたけれど、周りがネタとして話していたらカミングアウトしづらいことに気付いた。友達同士がくっついているのを見てからかっただけで、そういうのもやめようと思った。
- ◆大学生: 「性はグラデーション」という言葉がとても心にしました。LGBT の人達だけが “ちがう” のではなく、私も含めて全員が “ちがう” ことを認識したいと思いました。
- ◆教職員: ReBit メンバーの過去の話のなかで「先生は変だとか言わなかったので安心していた」という言葉があり、教員の言動が子どもたちに与える影響の大きさを感じました。子どもたちと接する時の参考にしたいと思います。
- ◆行政職員: 自治体として何ができるのか、情報を理解しておくことの重要性を感じた。すべての市民にとって安心して過ごすことができる土壤をつくっていきたい。
- ◆保護者: 知る大切さを学べました。普通は人それぞれだし、子どもに対して〇〇するべき、〇〇しなければという感覚は捨てて、ありのままを肯定していきたいと思います。

調査研究

中学・高校での多様な性についての授業効果について、調査研究を実施しました。調査報告書はこちらからご覧ください。 <https://rebitlgbt.org/project/kyozai>

メンバーの声

ReBit は私の人生を大きく変えてくれた存在です。私は高校生の頃、自分のセクシュアリティを認められずに苦しんでいて絶望の中にいました。しかし ReBit で多様な性に関する情報を知ったり、LGBT の人たちと出会い、自分らしく大人になれると知ることができました。周りの人が自分の事を受けとめてくれたから、ありのままの自分を認める事が出来ました。そのため出張授業では、相手のちがいを受けとめる大切さを伝える事を心掛けています。人の心に残るような出張授業が出来るように頑張ります！（なつみ）



書籍 / 教材開発

ReBit は出版社や、行政と連携し、約 4 万部の多様な性についての書籍 / 教材を作成しました。一部教材は ReBit のオンラインストアからご購入いただけます。 <https://rebitlgbtsupporters.stores.jp>

書籍

- 教職員・保護者向け
LGBT ってなんだろう? 一自認する性・からだの性・好きになる性・表現する性 (合同出版 / 2014 年・改訂新版 2019 年)
- 小学校中学年以上向け
『いろいろな性、いろいろな生きかた』(ポプラ社 / 2016 年)
- 小学校高学年以上向け
『ふつうってなんだ? — LGBT について知る本』(学研プラス / 2018 年)

冊子/DVD

- 教職員向け冊子
『男・女だけじゃない! 先生が LGBT の子どもと向き合うためのハンドブック』(横浜市・埼玉県・東京都武蔵野市と協働制作 / 2014 年)
- 教職員向け DVD
『先生にできること～ LGBT の教え子たちと向き合うために～』(早稲田大学教育学部 金井景子研究室と協働制作 / 2012 年)

●小・中学校向け教材 「Ally Teacher's Tool Kit」(アライ先生キット)

LGBT について教員が基礎知識を理解し、授業の中で多様な性についての正しい情報を子ども達に提供し、LGBT の理解者である「アライ先生」となるまでをワンストップで支援する教材を 1000 個以上無料提供しました。オンラインでも無料公開中です。

<http://rebitlgbt.org/project/kyozai>



<教材の感想>

- ◆小学生: 周りにはいないと思っていたけれど、先生の話を聞いて「え! そんなにいるの? ジャあ私の身近にもいるのかな?」と、感じました。
- ◆中学生: わかっていたつもりでしたが、全く理解が出来ていませんでした。以前はふざけて言っていた言葉も言おうとした瞬間ハッとなり、意識一つでこんなにも違うのかと実感しました。
- ◆小学校教諭: 当事者からの言葉は素直に子どもたちの心に入っていました。アンケートや指導案もついていて、子どもへ伝える手立てがあり本当に助かりました。

キャリア事業

LGBTを含めたすべての人が
自分らしく働く社会へ

「履歴書等、男女欄どちらに丸をつけていいかわからず、就活のスタート地点にすら立てない」「職場に理解がないのでは…と思うため、カミングアウトすることが不安」「就職面接でカミングアウトしたら帰れと言われた」など、同性愛者や両性愛者の42.5%、トランスジェンダーの87.4%が、新卒就活時に性的指向や性自認に由来した困難等に直面すると言います。^(*)

そんなLGBTを含めたすべての人が、「自分らしい働くを考え、実現する」ため、キャリア事業を2013年より展開してきました。

(*) 2019認定特定非営利活動法人ReBit「LGBTや性的マイノリティの就職活動における経験と就労支援の現状」調査より

●2018年度のご報告●

<求職者応援>

ReBitはキャリアカウンセリングやイベント等で、約2000名のLGBTの就活生を応援してきました。2017年度より開始した、行政が初となるLGBTのための定期的な就労相談を、2018年度も神奈川県で継続実施をするとともに、LGBTかつ障がいをもつ求職者へ向けたイベントを実施しました。また、LGBT就活生に向けた情報サイト「LGBT就活」を運営しています。

<http://lgbtcareer.org>

- ◆色々なセクシュアリティの人がいる中、「自分は何なのだろう」という事を改めて感じました。何のために働くのか、どうして今生きているのか、考えながら就活に本腰を入れていきたいと思います。(20代・就活生)
- ◆ダブルマイノリティで就活に絶望していましたが、こういったイベントを開催していただけて救われました。(就活生)

<企業/就労支援者研修>

職場や就労支援機関でLGBTやDiversity&Inclusionについての理解を深める研修を、2018年度は91回、約6800名に実施しました。

研修実施企業実績：東日本電信電話株式会社、キューピー株式会社、株式会社富士通総研、UAゼンセン、神奈川労働局、他(敬称略)

①LGBTについての研修

LGBTが職場で困ることや企業の好事例など知識面の理解、LGBTの社会人らのライヒストリーや、職場でLGBTの社員様らから相談を受けた時のロールプレイなどを通じ、体感的な理解をはぐくむことで、LGBTにとって働きやすい職場づくりについて考えるための研修です。

②Diversity&Inclusionについての参加型研修

LGBTに限らず、ジェンダー、障がい、エスニシティ、介護、がんなど、さまざまな課題に取り組むNPO法人らと連携し、課題を横断し職場でDiversity&Inclusionについて考える研修です。

- ◆基礎知識だけでなく、体験・具体例をたくさん挙げてくださったので理解を深められました。(人事担当者)
- ◆これまでダイバーシティの講演等に多く参加してきましたが、このように親切に色々わかりやすく考えさせて頂けたのは初めてでした。(管理職)
- ◆どんなことでも、ベースは同じだと感じた。味方である話しやすい人として、違いを受容できることは大切であることを認識できた(管理職)

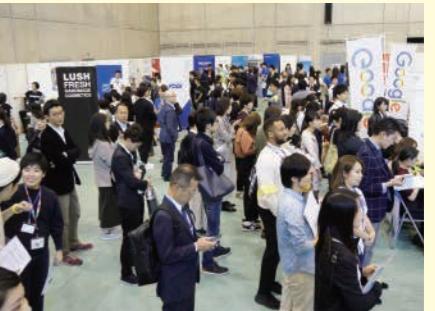


<RAINBOW CROSSING TOKYO>

LGBTを切り口に「誰もが自分らしく働く社会」を共創する会議を2016年に続き3回目を実施しました。約800名、35社が出展。政界の三者から後援をいただくLGBTイベントとなりました。

<RAINBOW CROSSING TOKYO 参加者の声>

- ◆パネルトークではLGBTの社会人らがご自分の体験談や考えを話してください、前向きに生きていこう、と元気をいただきました。(就活生)
- ◆私は当事者ではありませんが、マイノリティの方に配慮することができる企業は、誰にとっても働きやすい企業ができるに違いないと思い参加させて頂きました。実際の取り組みを聞き、出展企業に対するイメージが大きく変わったと同時に、出展企業への興味も大きくなりました。(就活生)



出展企業(敬称略)：株式会社丸井グループ、ソニー株式会社、LGBTファイナンス、アクセント・チャウ株式会社、ギャップジャパン株式会社、株式会社資生堂、ジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループ、ユニリーバ・ジャパン・ホールディングス株式会社、グーグル合同会社、NTTグループ、株式会社ラッシュジャパン、NEC(日本電気株式会社)、KDDI株式会社、日本航空株式会社、武田薬品工業株式会社、日本アイ・ビー・エム株式会社、KPMGジャパン、東日本旅客鉄道株式会社(JR東日本)、EY Japan、BLOOMBERG L.P.、日本マイクロソフト株式会社

映像研修/書籍の開発

企業向け研修映像：LGBTの基礎知識、職場での困りごと、今日からできることなどを知る映像研修を作成しました。
詳細は <https://rebitlgbtsupporters.stores.jp/items/5b754bb5496ff4cbd000638> をご覧ください。

ハンドブック：企業担当者や就労支援者が理解を深めるためのハンドブックを作成。★印のハンドブック2種は無料で頒布しています。
詳細は <https://rebitlgbt.org/project/company> をご覧ください。

書籍：『トランスジェンダーと職場環境ハンドブック』
(日本能率協会マネジメント/2018年)



★企業向け
ハンドブック

★就労支援者向け
ハンドブック

調査研究

LGBTの新卒就活にかんする日本最大級の調査「LGBTや性的マイノリティの就職活動における経験と就労支援の現状」を実施しました。(報告書は追ってReBitホームページに掲載予定です)

コンサルテーション/アドバイジング

社内制度やガイドライン作成のためのアドバイジングや、イベント/PRを行なってきました。

事例1) 社内制度構築：同性パートナーへの福利厚生やトランスジェンダー社員に向けた社内制度整備を目的とした定例会議の運営、議論の進行、議事録の作成等

若者リーダー応援

LGBTの課題に取り組む
全国の若手リーダーを応援する



diverseeds

diverseeds は、地域で LGBT の課題に取り組む若手リーダーを応援するプログラムです。世代や地域の枠を超えて、中長期的に各地域で課題解決に取り組む若手リーダーを応援することで、全国における LGBT の課題解決に継続的に寄与することを目的としています。今年度は全国から応募のあった 20 代のユースリーダーを対象に、地域のリーダーとなるために必要な知識とスキルを身につけるべく、2018 年 10 月から 2019 年 3 月まで半年間のプログラムを実施しました。

●2018 年度のご報告●

ユースリーダーは 3~4 人ずつチームとなり、定期的なオンラインミーティングで進捗報告や情報交換などの機会をつくりました。各チームには、NPO 等と企業で LGBT の課題に取り組む先輩がアドバイザーとして、ReBit の卒業生を中心とする 20 代の活動経験者がメンターとして、伴走しました。

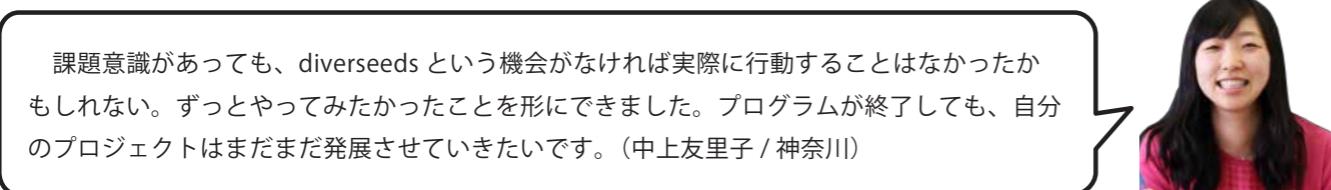
ユースリーダー同士の交流とスキルアップを目的とした一泊二日の研修会、LGBT を取り巻く現状と活動の歴史に対する見識を深めるためのオンライン勉強会、プログラムの集大成として自身の取り組みについての発表する活動報告会などを実施しました。



参加者の声



diverseeds に参加して、他のユースリーダーやアドバイザーとのつながりができる、本当によかった！志ある仲間と意見交換できることはもちろん、今までがんばってきた活動や価値観を肯定的に、かつあたたかく受け止めてくれる環境はなかなかないので、とても有意義でした。（間々田久渚 / 群馬）



課題意識があっても、diverseeds という機会がなければ実際に行動することはなかったかもしれない。ずっとやってみたかったことを形にできました。プログラムが終了しても、自分のプロジェクトはまだまだ発展させていきたいです。（中上友里子 / 神奈川）

メディア報道 財務諸表

これまでのメディアでの報道

- テレビ NHK ニュース、NHK 「高校講座」、日本テレビ 「news every.」、他
- 新聞 日本経済新聞、朝日新聞、読売新聞、毎日新聞、産経新聞、東京新聞、他
- Web メディア Yahoo! ニュース、huffingtonpost、buzzfeed、他
- 寄稿 独立行政法人 労働政策研究・研修機構 (JILPT) 「企業の LGBT の就労に関する取組事例」、『メールカウンセリングの技法と実際 一オンラインカウンセリングの現場から』(川島書店)、神奈川大学評論、他
- 著書・共著書 『「ふつう」ってなんだ？ LGBT について知る本』(学研プラス)、『トランスジェンダーと職場環境ハンドブック』(日本能率協会マネジメント)、『教育と LGBTI をつなぐ』(青弓社)、『性のあり方の多様性』(日本評論社)、『LGBT ってなんだろう』(合同出版)

* その他にも、多数のメディアにて放映・掲載をいただきました。

財務諸表

平成 30 年度 活動計算書 平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで

科 目	金 額
I 経常収益	
1 受取会費	113,000
2 受取寄附金	11,545,647
3 受取助成金等	16,558,000
4 事業収益	47,286,043
5 その他収益	498
経常収益計	75,503,188
II 経常費用	
1 事業費	
(1)人件費	22,620,965
(2)その他経費	24,793,349
事業費計	47,414,314
2 管理費	
(1)人件費	1,487,895
(2)その他経費	940,068
管理費計	2,427,963
経常費用計	49,842,277
III 経常外収益計	7,654
IV 経常外費用計	110,000
税引前当期正味財産増減額	25,558,565
法人税、住民税及び事業税	1,083,700
当期正味財産増減額	24,474,865
前期繰越正味財産額	49,490,735
次期繰越正味財産額	73,965,600

平成 30 年度 貸借対照表 平成 31 年 3 月 31 日現在

科 目	金 額
I 資産の部	
1 流動資産	74,386,802
現金預金	3,864,139
売上債権	664,626
棚卸資産	2,562,927
その他流動資産	
流動資産合計	81,478,494
2 固定資産	
固定資産合計	380,560
資産合計	81,859,054
II 負債の部	
1 流動負債	
流動負債合計	7,893,454
2 固定負債	
固定負債合計	0
負債合計	7,893,454
III 正味財産の部	
前期繰越正味財産	49,490,735
当期正味財産増減額	24,474,865
正味財産合計	73,965,600
負債及び正味財産合計	81,859,054

ご支援くださった企業・団体

2018年度 ご支援くださった企業・団体様

(敬称略・順不同)



東京海上日動火災保険
株式会社
Share Happiness 俱楽部

ギャップジャパン
株式会社



公益財団法人
三菱財団



Panasonic NPO
サポート ファンド
子ども分野

かながわボランタリー
活動推進基金 21
(神奈川県)

埼玉県

ReBit をもっと知る/ 応援する

にじいろバトンチームに参加する

にじいろバトンは月1,000円から参加することができる次世代を応援するためのチームです。
皆さんからいただいたご寄付は出張授業等の活動費に使用させていただきます。
子どもたちが「ちがい」で諦めない社会と一緒に実現しませんか?
※ReBitは認定NPO法人ですので、皆さまからのご寄付は寄付金控除の対象となります。



<御礼/報告>

- ReBit 最新の活動情報 (月1回)
- にじいろバトン交流会、感謝祭 (年2回程度)
- アニュアルレポート (年1回)

<お申込みはこちらから>

<https://rebitlgbt.org/support/nijiirobaton>



<にじいろバトンメンバーの声>

◆ReBitのみなさんは、ずっと教えを受け続けたい先生であると同時に、大切な生徒でもあります。
目の前の子どもたちと重なり、この子たちがあるがままに認められる教室をつくるんだ、と思いを
新たにさせられます。これからも応援しています! (中学校教諭)

ReBitの情報をメールマガジンで受け取る

毎月、ReBitの最新の活動やイベント情報を届けるメールマガジンを配信しています。お申込みは右のQRコードからお願いいたします。
<https://lb.benchmarkemail.com//listbuilder/signupnew?om9I%2B75JX6EcYsxSYueRUF5pwVnAjsSI0eUZkqYfNfrtO5iNRn8gS8X4IBTFzgEtozrTjFZYUg4%3D>

